

広報 もおか



2026 新春対談 (P2-5 関連記事)

特集

中村市長×真岡で活躍する若者たち
開局5周年！FMもおか
真岡の農業を守り続けていくために

No.178
わが家の天使たち

東沼の
わたなべ なる
渡邊 成くん(1)

歯がたくさん生えてきて、おしゃぶりを3つも噛みちぎった、なるくん。もうすぐお兄ちゃんになるので、ついにおしゃぶりを卒業しました！
(パパ・ママより)

笑顔
をさがして

415人目の笑顔さん
いいじま みづほ
飯島 瑞穂 さん

親子でふれあい、日々頑張るママの心と体をほぐす「ベビトレヨガ」をお届けしています。赤ちゃんの脳と体の発達もサポートし、笑顔あふれる癒しの空間をこれからもつくっていきます。

広報もおか 848号／令和8年1月1日発行／発行人 真岡市長 中村和彦／編集 秘書広報課広報広聴係

△

もおかのココ がすごい！

子育て
(教育)編

健康で元気いっぱい！のびのびと育つ「もおかっ子」

市では、さまざまなプログラムや体験を通じて、子どもたちが心身ともに健康で、のびのびと成長できる環境を整えています。「もおかっ子」が元気に成長する姿を応援します。

オリジナルの運動プログラムを実践

真岡市体力向上プログラムを作成し
体育授業を改善
(体力向上推進委員会の設置)

運動が好きな児童生徒の育成を目標に、各学校で体力向上に向けた計画を作成し実践しています。

【例】「生徒会主催“年忘れ”ミニスポーツ大会」
冬場の体力つくりを通じて、生徒が自らの体力の保持・増進を図り、楽しい学校づくりを目指す。

【成果】生徒会が主催することで、自主的な運動への取り組みや学級の団結力が育まれ、練習や大会に熱心に参加する姿が見られた。冬場の運動量の確保にもつながった。
(問・学校教育課指導係 TEL 83-8181)

豊かな自然の中での集団宿泊体験を通じて、人とのふれあいや自然とのふれあいを深め、心豊かでたくましく生きる力を育みます。

【宿泊日数】

小学校> 3年生 1泊2日
4・6年生 2泊3日

中学校> 1・2年生 2泊3日

【活動内容】高齢者とのふれあい活動、炊さん活動、創作活動、ニュースポーツなど

(問・自然教育センター TEL 83-1277)

詳細は
真岡市
教育委員会
HP参照
ID13356

詳細は
市 HP 参照
ID13979

詳細は
市 HP 参照
ID24393



現在、市内で活躍中の3人の若者たちが、それぞれの活動を通して見る真岡市の考察や、これからの中村市への思いについて、中村市長と話し合いました。
(問・秘書広報課広報広聴係TEL 83-8100)

**筑波大学大学院 1年
グレンドーラ市インターン生**
白和田 晴登 さん (23歳)
大学院で第二外国語習得にまつわる研究をしながら高校の英語教師をしています。昨年は、真岡市の姉妹都市であるグレンドーラ市へインターン生として派遣されました。



**白鷗大学 3年
FM もおかパーソナリティ**
森島 亜美 さん (21歳)
真岡女子高等学校の放送部として活動していた際に開局したFM もおかに関わりを持ち、現在は大学生パーソナリティとして毎週火曜日の番組を担当しています。



**白鷗大学 4年
真岡まちづくりプロジェクト5期生**
西山 日陽里 さん (22歳)
真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくる」通称まちつく5期生として活動しています。地域で子どもを育てる目的で子どもから高齢者まで全世代が交流できる場「れとろる~ふ」を開催しています。



市長 明けましておめでとうございます。今回は、私が理念に掲げる「一人一役！全員主役！～みんなでつくるもおかの未来～」にちなみ、市内でご活躍されている3人の若者の皆さんにお越しいただきました。これからの中村市を担う若い世代の方々が考える真岡市の将来や、市への意見、アイデアなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。

真岡の魅力や好きなところは？



日和田 晴登さん



森島 亜美さん



西山 日陽里さん

国際交流が盛んなまち

日和田 アメリカ合衆国のグレンドーラ市、オーストラリアのハーヴィー市、台湾の斗六市の3つの市と友好関係を結んでいて、県内の市町の中でも国際交流が進んでいる市だと思います。自然が豊かで海外との繋がりが強いことは、真岡市の誇れるポイントです。また、真岡市の外国人住民の割合が5%を越えていて県内トップである点も、魅力の1つだと思います。

子育てしやすいまち

森島 パーソナリティをしていて真岡市はイベントが多く開催されていると感じます。大産業祭やいがしらリゾートのアウトドアフェス、いちごフェスタは県外からの来場者や出店者も多く、大人から子どもまで楽しめるイベントだと思います。また、沐浴体験やmonacaの子育て支援センターなど、子育てをする人への支援が充実している点も真岡市の魅力です。

教育が充実しているまち

西山 真岡市は教育制度がとても充実していると思います。ALT（外国語指導助手）やJTE（日本人英語指導者）が配置され、英語の教育が充実している点や、適応指導教室であるもおかライブリー教室など学校に馴染めない子どもが学べる環境が整っている素晴らしい市です。いがしらリゾートのおふろcaféなどみんなが楽しめる施設がある点も魅力的です。



真岡市の課題は？

真岡市のいちごをもっと PR

日和田 真岡市がいちごの生産量日本一であるということをもっと全国にPRしていくべきだと思います。生まれてからずっと真岡市で育ってきましたが、最近になって真岡市のいちごが数字でも日本一であることを知りました。もっと市民が真岡市のいちごのすばらしさを理解し全国に誇るべきだと思います。

西山 いちごの生産が盛んな他の市町では、市内のいたるところにいちごのマークやオブジェなどが飾られているのを見かけます。真岡市内にも、もっといちごの生産日本一をPRできるようなものが増えるといいと思います。

森島 以前に開催されたストロベリーワールドやいちごフェスタはPRとして、とても効果的なイベントだと思いました。県外からの来場者も多く、大きないちごのオブジェ展示やいちごを使用したスイーツなどの販売、いちご狩りなどが開催され、真岡市のいちごの良さが多くの人々に伝わるイベントだったと思います。県内の他の市町と競い合いながら合

同でイベントを開催し、いちごのPRができるのも面白いと思います。

市長 たくさんのアイデアをありがとうございます。二宮尊徳翁の教える「報徳仕法」の発祥の地が真岡市であることはご存じですか。今年は11月に「全国報徳サミット」が真岡市で開催されます。全国から多くの皆さまがお越しいただくイベントとなりますので、「いちご王国栃木の首都もおか」として日本一のいちごをはじめとした、真岡市の魅力をPRしたいと思います。

こんなまちになってほしい

国際交流の輪を広げて

日和田 国際交流が充実している点をもっと周知してほしいです。秋の大産業祭で友好都市のブースを担当しましたが、市内に住んでいる方でも友好都市について知らない人が多かったことから、まずは市内に向けた周知に力を入れていくべきだと思いました。例えば、外国人住民の割合が高いことを活かして、市内に住む外国人の方に国際交流のイベントなどにボランティアで参加してもらうというのはいかがでしょうか。海外から日本に来られ

ている方のほうが国際交流に関心を持ちやすく、参加される方も多いと思います。

市長 教育国際交流が充実している点など、市には誇るべき教育政策や地域資源が多くあります。そういう市の強みをいかにアピールしていくかが今後の人口減少を防ぐ鍵になると思います。市内在住の外国人の方に国際交流の協力を得るという日和田さんの考えは大変面白いアイデアですね。

多様な学びの充実を

森島 令和8年度に栃木市に県内初の公立夜間中学が開校されますが、日和田さんの話にもあったとおり、外国籍の方の割合が多い真岡市に夜間中学を設立してはいかがでしょうか。夜間中学は過去に十分な教育が受けられなかった高齢者の方だけでなく、外国籍の子どもたちが日本語を学べる場として、また、不登校の子どもたちが義務教育を受けられる場となります。真岡市から栃木市の夜間中学に通うとなると、通学時間や交通の利便性の観点から、通うことが難しい方が多くいると思います。市内に夜間中学を設置することで、子どもたちの将来の目標や職業の選択肢が増えるのではないかと思います。

市長 教育は平等に受けられなければならないと私も思います。市内の小学校は創立150周年を迎えた学校が9校もあります。先人たちの教育に重きを置く姿勢を大切に、今後も教育政策に力を入れていきたいと思います。

学校を地域で支える

西山 市内の学校で教育実習等を経験して感じたことは、学校によって保護者や地域との関わり方に差があることです。学校によっては、保護者の方や地域の方が学校と関わる機会が設けられていました。地域全体で子どもたちを育てていくためにも、こういったボランティアを通して学校と関わる機会を増やしていってほしいです。

市長 地域全体で子どもたちを育てていくことは、今の時代において、とても大切なことだと思います。コミュニティ・スクールの導入も進んでいますが、地域と子どもたちが関わり持てるようなイベントや場所が増えるといいですね。

市長 若い世代の方が真岡市がより良いまちになるようにと考えていただいていることに感銘を受けました。今後も皆さんと一緒に真岡市を盛りあげていきたいと思います。本日はありがとうございました。





FMもおか開局5周年記念イベントを開催！

11月15日（土）、青年女性会館においてFMもおか開局5周年記念イベントが開催されました。普段FMもおかに出演している方が集まり、民話語りや落語の披露、ライブ演奏、もおか観光コンシェルジュによる周辺観光施設ガイドなどが行われ、多くの人が賑わいました。（問・秘書広報課広報広聴係TEL 83-8100）



FMもおかを聴こう！

市内を放送エリアとして、地域に密着した話題や緊急時に役立つ防災情報などを放送しています。ラジオだけでなく、アプリなどを利用すればいつでもどこでもFMもおかを聴くことができます。

ラジオで聴きたい！

市販のFMラジオや車のラジオでFMもおかを聴く場合は、[87.4MHz]にチューニングすることで聴くことができます。



スマートフォンやパソコンで聴きたい！

無料アプリ「FM++（エフエムプラプラ）」をダウンロードして放送局からFMもおかを選ぶだけ！パソコンで聴く場合もブラウザ上ですぐにラジオを聴くことができます。



FM++（エフエム
プラプラ）のダウ
ンロードはこち
ら

防災ラジオで非常時も安心！

防災ラジオは、避難情報や火災情報などの緊急放送を聴くことができます。防災ラジオでもしもの時に備えましょう。購入方法など詳しいことについては市ホームページをご確認ください。（問・危機管理課危機管理係TEL 83-8197）



市HP
ID: 11306

防災ラジオの機能

- 電源を入れるとFMもおかを聴くことができます。
※他の局を聴くことはできません。
- 緊急時には自動的に電源が入り、緊急放送が流れます。
※避難指示など特に緊急性の高い情報については、最大音量で流れます。
- 最新の緊急放送は自動で録音されます。

市役所・二宮支所の窓口で販売中！

【販売場所】

市役所本庁舎2階危機管理課窓口
二宮コミュニティセンター内二宮支所窓口

【販売金額（税込）】

75歳以上の方のみで構成される世帯：1,000円
その他の世帯や事業所：3,000円
※2台目以降：9,900円

【購入対象】市内に住所や事業所を有する個人の方または法人・個人事業主

FMもおかは楽しい番組が盛りだくさん！

FMもおかの番組では個性豊かなパーソナリティが真岡の歴史や市内の情報を届けています。Instagram、X（旧Twitter）では、番組の内容や出演者の紹介などを行っています。ぜひフォローしてください！



FMもおかHP



@FmMoka874



X（旧Twitter）
@FmMoka874





真岡の農業を守り続けていくために 地域計画を進めています

地域計画とは、10年後の地域の農業をどのようにしていくのか、農地をどのように守り、次の世代につないでいくかの計画です。真岡市では令和7年3月に策定し、政策を進めています。

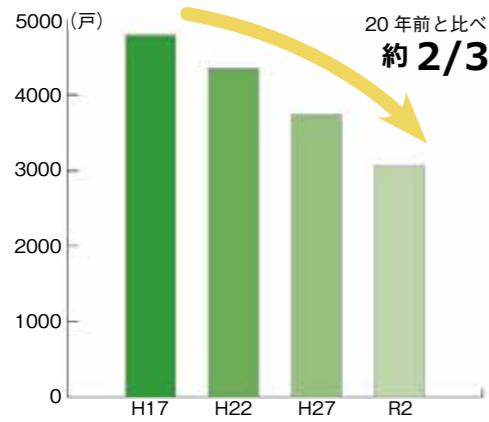
地域の話し合いに基づき計画を作成することで、地域農業における将来の農地活用の在り方を明確化し、安心した地域農業を継続できる環境づくりを目指します。
(問・農政課農政係 TEL 83-8137)



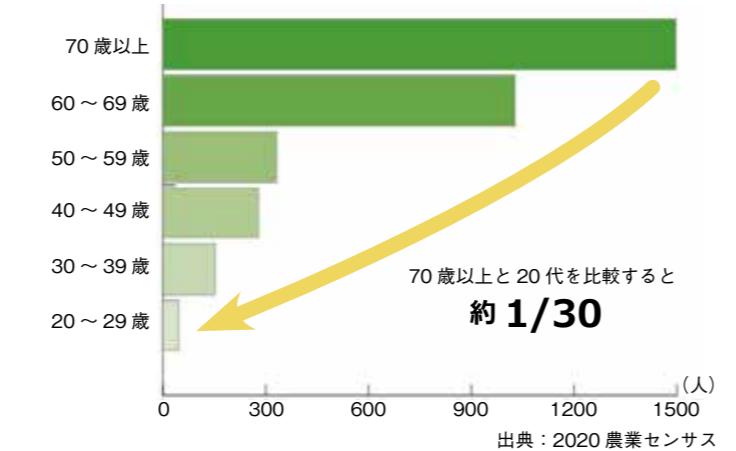
なぜ「地域計画」が必要なの？

地域農業が抱える課題として、人口減少や農業者の高齢化などにより農業者の数は減少し、有効活用されていない農地が増えています。こうした問題を解決するため、地域全体として将来の農業や農地を守るために何が必要かを考えていく必要があります。

市内総農家数の推移



年齢階層別の基幹的農業従事者数

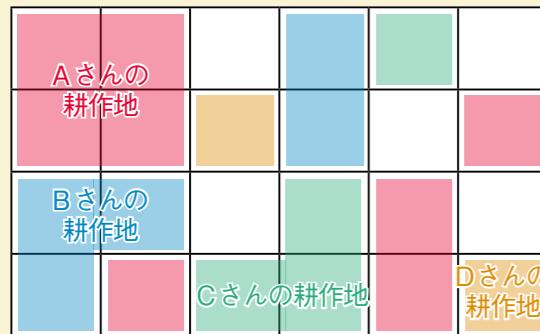


地域計画でどう変わる？

誰がどの農地を耕作するか見通しを立て、計画に反映しておくことで、農地の貸し先が「見える化」され、農地を貸したい人は、安心して農地を貸すことができます。また、農家の皆さんにとっては農地をまとめやすくなり、農作業の効率化を図ることができます。

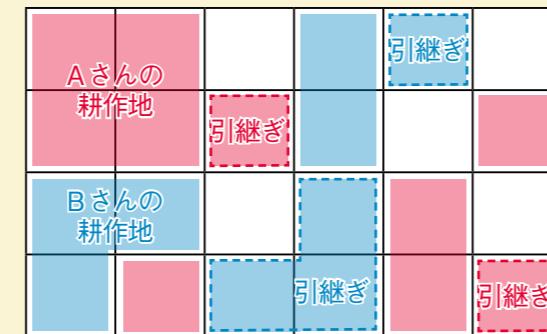
地域計画作成前

耕作できなくなった場合、各自で耕作者を見つけるため、農地が点在



地域計画作成後

事前に誰が耕作するか決まっており、農地がまとまりやすい



地域計画の今後

地域計画は、農業関係者を中心に、地域のみなさんと将来の農地活用方針について話し合いを行い、より地域の実情に即した計画になるよう毎年更新していきます。

地域計画の策定プロセス

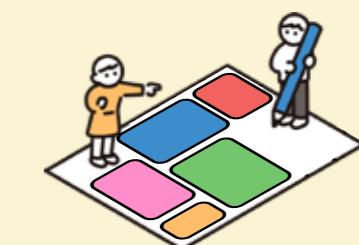
①地域の話し合い（座談会）

各地域で話し合いを行い、将来の農地利用の方針をまとめています



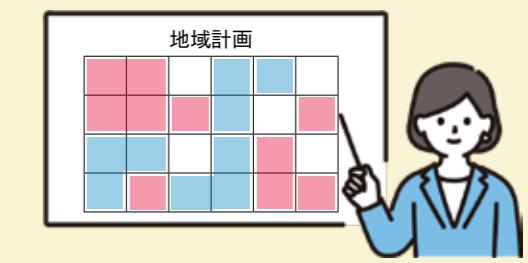
②目標地図の作成

話し合いでまとめた方針を示す目標地図を作成します



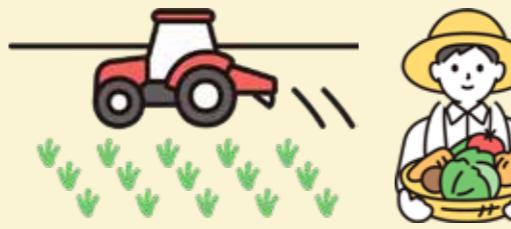
③地域計画の策定

地域計画を策定・公表します



④計画の実施・更新

計画に基づき農地利用を行い、変更に応じて更新を行います



座談会の開催

地域農業を次世代につなげていくためには、今から地域全体で話し合い、将来に備えていく必要があります。ぜひ座談会にご参加ください。

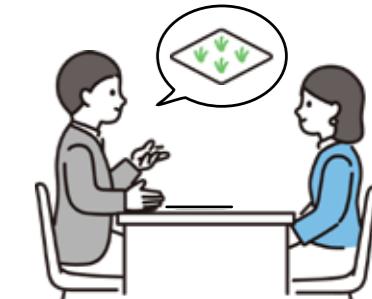
話し合いの開催日時などの詳細については、WeeklyNews もおかや市のホームページでお知らせします。



農地に関する手続きが変わります

地域計画の策定にともない、下記の事務手続きが変更になります。

- 地域計画の区域内の農地を農振除外や農地転用する場合
→地域計画の変更が必要となります。変更には時間がかかりますので、事前にご相談ください。
- 補助金の交付を受ける場合や農地の貸し借りや売買をする場合
→地域計画に掲載されていることが必要となる場合があります。



表彰
11.18 (火)

第72回 真岡市教育祭

教育祭がKOBELCO 真岡いちごホール小ホールで開催され、今年度は4部門において、68人2団体の方々が受賞しました。（敬称略・順不同）

学校教育功労者部門

◇学校医（10年以上）鈴木幸代

社会教育功労者部門

◇地域公民館長（7年以上）東鹿公民館長／柳秀晴、台町公民館長／青柳茂樹、熊倉公民館長／高山一実◇PTA 優秀会員（4年以上）亀山小学校／田尻真美、大内中央小学校・大内中学校／上野孝明、大内西小学校／古谷麻美、山前小学校・山前中学校／蕎麥田加津男、長田小学校／田崎匡亮◇スポーツ協会長等（8年以上）スポーツ協会専門部長／林洋一、三尾龍吾、小川英壽、渡邊行男◇亀山小学校区青少年健全育成連絡会長（8年以上）／宮部勝房、久下田小学校区青少年健全育成連絡会長（8年以上）／田中弘善

篤行者

◇市内小学校への寄贈／株式会社神戸製鋼所真岡製造所
◇真岡市民公園時計塔の寄贈／真岡ライオンズクラブ
◇大内東小学校への寄贈／飯田アイ

各種活動優秀児童生徒

◇硬式野球【真岡中】中山凜【中村中】川原柚羽【長沼中】国府田留那、国府田怜南 ◇軟式野球【中村中】荒井恋

優秀児童生徒部門（小学6年生）

【真岡小】中三川葵衣、金田倫果、高橋功夫
【真岡東小】桂木大地、竹澤里織、秋山穂果
【真岡西小】廣瀬愛莉、岡本咲菜、富田絢音、本田美優子【亀山小】荒井惺喜、樋下田彩【大内中央小】水沼詢太【大内東小】手塚大結【大内西小】大塚陽太【山前小】大岡秀徳【西田井小】中里光李【中村小】熊田愛里、松本淳利【長沼小】手塚隆乃助、假屋帆呂【長沼小】倉持早汰【久下田小】阿部莉那、早瀬茉叶【物部小】青柳優志

優秀児童生徒部門（中学3年生）

【真岡中】浦野実優、黒子煌牙、鯨絢音、三好亮葵、柳卓杜【真岡東中】服部海月、小林楓、青木ひなた【真岡西中】田尻亮介、大嶋彩希、大塚温揮【大内中】小坂涉悟【山前中】塩野谷奏、高橋夏都【中村中】賀川裕翔、栗田果七有、宮沢璃人、木村里瑚【長沼中】井澤百々香【久下田中】田沼愛琉、西橋彩【物部中】野澤柊羽



表彰
11.29 (土)

世代を超えて広がる文化の輪 真岡市文化祭表彰式

10月3日（金）から11月2日（日）にかけて真岡市文化祭が開催され、小学生から一般の方まで多くの応募があり、文芸部門（俳句、川柳、短歌、詩、隨筆）で606点、展示部門（盆栽、洋画、日本画、写真、書道）で409点出品されました。11月29日（土）の表彰式では、文化祭賞、準文化祭賞を受賞された方へ賞状とトロフィーが贈られました。



イベント
11.15 (土)

プロの技術を学んでレベルアップ！ 栃木 SC こどもサッカー教室

真岡ハイトラ運動公園で、栃木SCの選手・コーチによるサッカー教室が開催され、小学生約40人が参加しました。低学年・高学年に分かれ、パスや2対2の対戦練習、子どもたち対選手・コーチによる練習試合などを行いました。最後にサイン会も開かれ、シャツやボールにサインをもらい、思い出に残る一日となりました。



イベント
11.16 (日)

乗って、見て、触って、食べて、楽しめる SL フェスタ 2025

SL キューロク館で SL フェスタ 2025 が開催されました。キハ 20 形の撮影・車内見学・車掌体験、関東職業能力開発大学校製モオカ 14 形等のミニ列車乗車、宇都宮 LRT・JR のグッズ販売などが行われました。真岡駅前通り商店会・ときわ町商店会の模擬店やキッチングターが並び、もおかぴょんとのじゃんけん大会なども行われ、来場者は楽しく一日を過ごしました。

イベント
11.16 (日)

きれいな水の秘密を学ぼう もおかの水道施設見学会

生活に身近な水道について学ぶ水道施設見学会が開催され、小中学生の親子など6組が参加しました。見学会では、生活に欠かせない真岡の水道についての説明を受け、実際に地面に埋まっている水道の管の展示を見学し、高架水槽を登ったり、給水袋を使った給水車からの給水方法など、普段では行えない体験をすることができました。

イベント
11.23(日・祝)

楽しいイベントが盛りだくさん！ 第33回真岡市大産業祭

商工会議所の産業祭やJAまつり、子どもまつりなどを同時開催する秋の大イベント・大産業祭が開催されました。ポン菓子やそば粉の無料配布や地元グルメなどの露店が軒を連ねたほか、パトカー、消防車両、自衛隊特殊車両の展示や真岡工業高校による電気自動車運行体験など、さまざまなイベントが行われ、多くの人でにぎわいました。

イベント
11.29 (土) オーストラリアの食文化を楽しく体験
アンザッククッキーづくり

友好都市オーストラリア・ハーヴィー市とのオンライン交流事業として、アンザッククッキーづくりが行われ、市民の方たちが参加しました。交流会では、ハーヴィー市在住のニュートン・美帆さんが講師を務め、参加者たちは、調理のポイントやオーストラリアの食文化について熱心に聞きながら、食を通じた異文化体験を楽しみました。



※オーストラリアの国民的なお菓子で、卵を使用せずつくられた長期保存できる焼き菓子

市政情報
PLUS+

【人口と世帯数】令和7年12月1日現在 ※カッコ内は前月比
77,688人（-54）男39,488人（-35）女38,200人（-19）
33,681世帯（-17）住民基本台帳と外国人登録者数（4,546人）から算出
真岡市公式アプリは、広報紙の電子版や防災行政無線などの防災情報に直接アクセスできます。無料で誰でも利用できますので、ぜひダウンロードしてお使いください。



詳しくは市HPで
ご確認ください
ID 6350

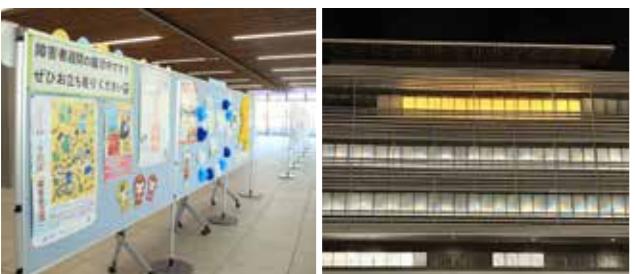
新任人権擁護委員の紹介

1月1日付けで、市の人権擁護委員に石崎浩子さんが就任しました。今後は、地域の皆さまからの相談に応じるほか、人権についての考えを広め、関心を持ってもらうための啓発活動などを行います。
(問・市民協働推進室TEL 83-8141)



障害者週間パネル展示

障害者週間に合わせて、12月3日（水）～9日（火）の間、市役所本庁舎1階市民ロビーおよび二宮支所にて、市内の障がい者支援施設利用者の皆さんが制作した作品と、施設紹介に関するパネル展示を行いました。期間中は、障がい者の社会参加促進のシンボルマーク「イエローリボン」にちなみ、本庁舎でイエローライトの点灯をしました。
(問・社会福祉課障がい福祉係TEL 83-8129)



“いちご守り隊”パトロール出陣

12月1日（月）、真岡市、JAはが野、真岡警察署、栃木県が連携して取り組む「いちご守り隊」の出陣式がmonaca西駐車場で行われ、啓発のためにチラシなどを配布し、今季の活動をPRしました。
(問・農政課農業振興係TEL 83-8139)



わたしのみ基金・善意銀行（11月）

（敬称略、問・社会福祉協議会TEL 82-8844）

わたしのみ基金

古河ヤクルト販売株式会社 92,000円
西真岡アクセプトインターナショナルクリニック×カナレット～秋のチャリティマルシェ 25,968円
高間木公民館 14,229円

善意銀行

西沼区 さつまいも4ケース／赤羽純一 さつまいも10kg／ベイシア真岡店 食品一式／嶋田フミ子 シルバーカー1台、紙おむつ2袋／肉のフジタ 10,000円／JAはが野真岡地区・二宮地区女性会 食品1箱／JAはが野男前クラブかぼちゃ1箱、さつまいも1箱、食品・生活雑貨一式／バリバリ野郎 100,000円／公文式 北真岡 今井和子 9,485円／匿名 米60kg／匿名梨10ケース

真岡で活躍している人を応援します

それいけ！まちびと



コットンウェイ硬式野球倶楽部 コーチ
おおにしまい
大西 舞さん
cottonway

私は埼玉県で生まれ育ち、小学生の頃は兄の影響で野球チームに所属していました。中学生になると、当時は女子が野球部に入部できなかったためソフトボールに転向し、高校・社会人と競技を続けてきました。社会人で本田技研工業株式会社のホンダリヴィエルタへ選手として入団したことが真岡に来たきっかけです。選手引退後はチームのアシスタント、コーチ、監督を務め、

集まれ mokafan モオカファン

みんなのSNS投稿作品を紹介

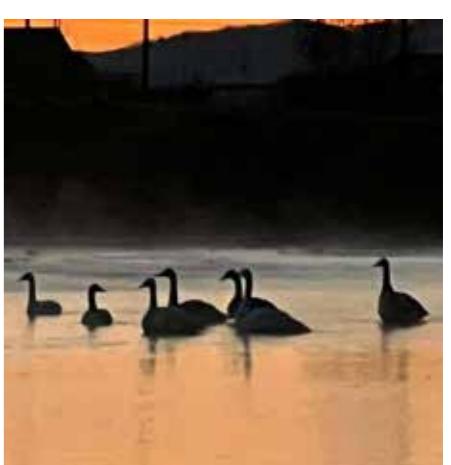
インスタグラムやフェイスブック、エックスなどのSNSで、#mokafan や#真岡応援カメラマンが付いた作品から、今回は「鳥」をテーマに紹介します。
(問・秘書広報課シティプロモーション係TEL 81-6947)



#五行川



#井頭公園



#真岡散策

現在、市内の野球チームであるコットンウェイ硬式野球倶楽部のコーチをしている大西さん。コーチを始めたきっかけやコーチとして心掛けていること、今後の目標について取材しました。

その後、ご縁がありコットンウェイ硬式野球倶楽部でコーチとして指導に携わっています。指導の場では、自身の経験や感覚をどのように言語化し、選手に分かりやすく伝えるかを常に意識して取り組んでいます。難しさもありますが、選手の成長を間近で感じられることに大きなやりがいを感じています。真岡市で長く活動してきた中で、地域の皆さんから一大早に応援の大きさを強く実感し、選手も指導者も「地域に支えられて競技を続けられている」という思いが年々強くなっています。だからこそ、スポーツを通じて少しでも恩返しができる存在でありたいと考えています。チームには幅広い年代の選手が在籍しており、若い選手から学ぶことも多く、コミュニケーションの大切さを改めて実感しています。技術だけでなく、安心して挑戦できる雰囲気づくりがチームの力につながると思います。

今後は、これまでの経験を活かしながら、選手が気軽に相談でき「野球が楽しい、大好きだ！」と心から思える場づくりに努めるとともに、地域の皆さんに喜んでもらえる、そして応援したくなるチームづくりを目指していきます。一人ひとりが持つ力を発揮し、チームの目標である全国大会出場の実現に向けて取り組んでまいります。

ご自身のSNSアカウントで「#mokafan」「#真岡応援カメラマン」をつけて写真を投稿してください。



市HP
ID 13734



真岡市公式
Instagram

ちょっと拝見!

MOKA



レンタル福祉器具

仕事内容を教えてください

当社では、介護保険を利用する方に対して、介護用ベッドや車いすなどの福祉器具のレンタルや販売、自宅のリフォームを行っています。お客様のニーズに合わせて福祉器具を選定、提案し、利用後のアフターケアも行っています。

入社のきっかけは何でしたか？

以前は介護関係の仕事をしていましたが、祖父が倒れた際に自宅で介護ベッドや手すりなどの福祉器具を借りたことから、その重要性を実感し、現在の仕事をしたいと思いました。

苦労したことはありますか？

福祉器具の選定は、お客様が希望する器具や使用場所、自宅の間取りなどによって提案する製品が異なるため悩む時があります。器具を使用する方だけでなくご家族の意向をくみ取り、みんなが住みやすくなるような選定を心がけています。

(株) 厚木商会 にこにこラボ
福祉用具専門相談員

やなぎ ともこ
柳 智子さん (42歳)

お客様の気持ちに
寄り添いたい



商品の説明をする様子



販売している福祉器具

やりがいは何ですか？

お客様から「器具のおかげで生活が楽になった」という声を聞いたときにやりがいを感じます。お客様が求める製品を提案し、アフターケアなどのサポートを通じて、生活をより良くする手助けができることうを誇りに思います。

社内の雰囲気はどうですか？

社員同士の仲が良く、雰囲気も穏やかな職場です。少人数の会社なので社長が社員一人一人を気遣ってくださり、休暇も取りやすいので子どもの学校行事にも積極的に参加できます。

今後の目標を教えてください

今後は、より多くのお客様に寄り添ったサービスを提供し続けたいです。社会全体が高齢化していく中で、福祉器具の重要性は増していくため、ニーズに応じたサービスを充実させていきたいです。

会社プロフィール

にこにこラボ

(株) 厚木商会 にこにこラボ

【所在】 石島 941
【会社設立】 平成 26 年 8 月



特定福祉器具である介護用ベッドなどの販売やレンタル、リフォームを行っている会社です。1級建築士が在籍しており、建築と福祉の両方の視点で生活の提案をしています。「人が笑顔でいられることが尊いということ」そしてそれは「100人 100通りで多様であること」そしてそれを「受け入れられる心の寛容さをもつということ」を経営理念として、明るく前向きな生活サポートを心掛けます。

掲載希望の方は秘書広報課広報広聴係へ
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp



あの日あのころ

第439回



ふくだ えつこ
福田 越子さん



(熊倉町在住・75歳)
こころとからだに
寄り添って

私は昭和 25 年、益子町に生まれました。実家は葉たばこや果樹を育てていました。秋の収穫が終わると、母は隣町の養老院に慰問に行っていました。当時の私は、その行き帰りで母といろいろな話をすることが一番の楽しみでした。

真岡女子高校卒業まで益子で過ごし、その後前橋赤十字高等看護学校を卒業、芳賀赤十字病院で 3 年間の勤務を経て、昭和 49 年に新しく設立された自治医科大学病院で働くことになりました。昭和 51 年から看護師長として病棟勤務の傍ら、へき地医療の看護師研修担当として、宮古島や石垣島の病院で現地研修に参加したり、

イスラエルで行われた国際看護学会で、20 世紀のナイチンゲールと言われたバージニア・ヘンダーソン女史や他国の看護師との交流を通して看護の喜びを実感したりしました。

40 歳を迎え、このままで

▲実家の庭で

いのか？と悩み、放送大学の発達と教育専攻に入学しました。途中、古川記念病院（現日光市民病院）に看護部長として 2 年間派遣されましたが、5 年で卒業することができました。



▲バージニア・ヘンダーソン女史

最も心に残っていることは、がん末期の患者さんです。「どうしても家に帰りたい」と繰り返し懇願され、医師からは反対されましたが、患者さんの想いをかなえたいと、看護師たちとともに何度も話し合いました。休みの看護スタッフが毎日自宅に通うことを条件に、患者さんが自宅で過ごす許可が得られ、1 カ月程ケアをしました。まだ訪問看護という考え方がない時代でしたが、患者さんの幸せそうな顔を思い出すと、実現できてよかったです。

定年まで長く勤務できたのは、夫や義両親の支えがあったからです。心から感謝しています。

退職後は地域に貢献したいという想いから、厚生労働省所轄の健康生きがいづくりアドバイザーを取得し、ボランティア活動に参加しています。ノンケア体操の指導員やオレンジパート



ナーとして、こころとからだの健康を支えられることをとても幸せに感じています。これからも、自分の周りの人たちの健康と幸せに寄り添い続けたいです。

被害を防ぐポイント

①会ったことのない人を信用しない

SNS の広告やダイレクトメッセージで知り合った相手や、投資グループチャットなどを警戒する。

②必ずもうかる話はない

最初は順調に利益があると見せかけて、実際に配当が行われるが、お金は引き出せない。

③個人名義の銀行口座に振り込みをしない

投資先や紹介者と連絡が取れなくなり、お金を取り戻すことは困難です。

④金融商品取引業の登録の有無を確認する

無登録での金融取引業や暗号資産交換業は違法です。金融庁のホームページで登録を確認する。

⑤借金してまで投資はしない

⑥遠隔操作アプリを安易にインストールしない

【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）

TEL 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)

平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料